

**2013年 3月期 第2四半期
決算説明会**

**株式会社ダスキン
2012年11月14日**

本資料に関するご注意事項

- 本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、戦略等の将来に関する記述が含まれております。
- これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や、内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績又は展開と大きく異なる可能性があります。
- 第2四半期決算短信10ページ[セグメント情報]の(注)2に記載の通り、セグメント利益の調整額には、従来通り「セグメント間取引消去」及び「全社費用」が含まれており、本資料においては「全社・消去」と表示しております。

目次

■決算概況

連結業績 ハイライト	2
売上高の状況	3
営業利益の状況	5
経常利益の状況	7
当期(四半期)純利益の状況	9
連結貸借対照表の状況	11

■セグメント別売上高と営業利益

セグメント別 ハイライト	13
主要事業の概況	
クリーンケアグループ	14
フードグループ	18
その他・全社	22
その他(海外事業)	23

■公表予想との比較 及び 通期業績予想

2012年9月期 公表予想と実績比較	26
2013年3月期 通期業績予想	27

■配当について

配当について	30
--------	----

■ご参考

個別決算概況	32
セグメント別事業概要	33
事業別お客様売上高	35
ダストコントロール事業の資源循環型ビジネスモデルと強み	36

**2013年 3月期 第2四半期
決 算 概 況**

連結業績

(単位:百万円)

	2011/ 9月期	2012/ 9月期	前年同期比増減		(ご参考) 2012/3月期
			額	率(%)	
売上高	85,399	82,088	△3,311	△3.9	171,118
営業利益	4,238	4,751	512	12.1	9,841
売上高営業利益率(%)	(5.0)	(5.8)	(0.8)	—	(5.8)
経常利益	5,332	5,746	414	7.8	11,609
売上高経常利益率(%)	(6.2)	(7.0)	(0.8)	—	(6.8)
当期(四半期)純利益	2,866	2,967	101	3.5	4,583
売上高当期純利益率(%)	(3.4)	(3.6)	(0.2)	—	(2.7)

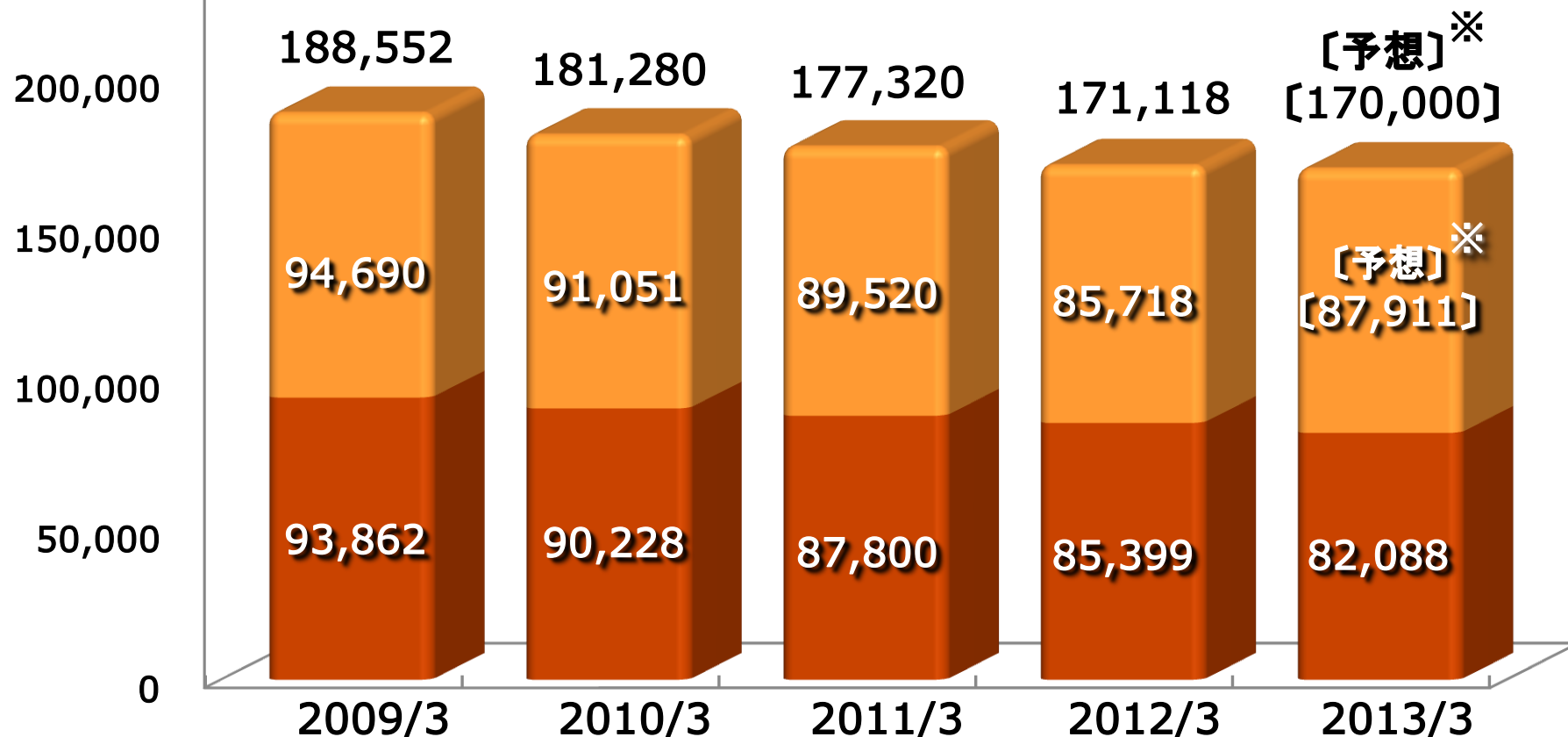
連結売上高の推移

(単位:百万円)

250,000

■ 売上高 上半期

■ 売上高 下半期



※2013年3月期の業績予想に関しては10月31日に修正しております(27ページに記載)。

連結売上高

2012/9月期の連結売上高

820億88百万円 前年同期比 $\Delta 33$ 億11百万円($\Delta 3.9\%$)

主な特殊要因

1. クリーンケアグループにおいて、支店で営業活動に従事する
個人事業主との契約形態を変更(以下「サブフランチャイズ契約
の変更」)したことによる売上高への影響額
2. フードグループにおいて、5月に連結子会社となった蜂屋乳業
の売上高への影響額

 $\Delta 17$ 億円

+4億円

これらの特殊要因を除く前年同期比は約20億円の減収。

セグメント別 売上高

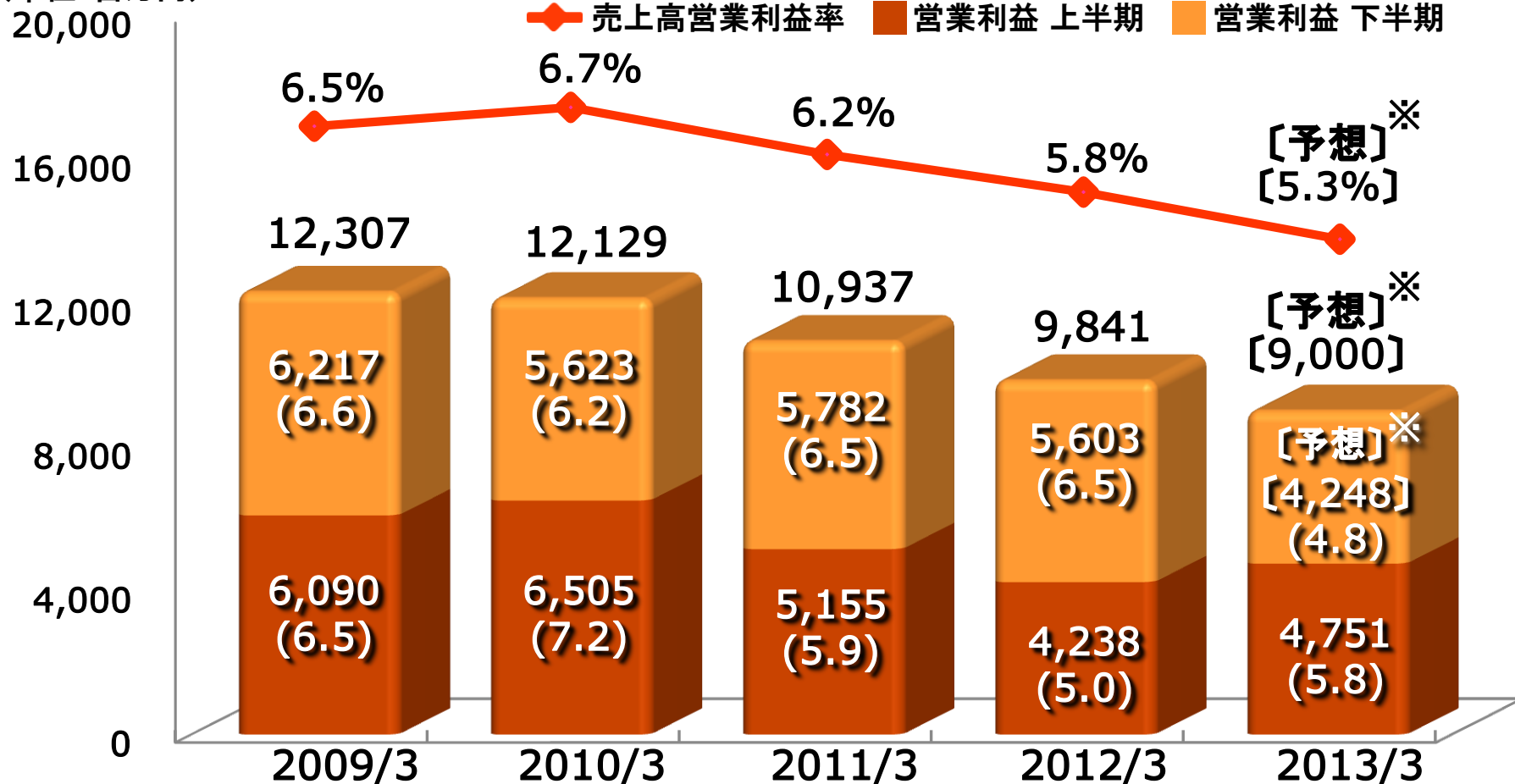
(単位:百万円)

	2011/9月期	2012/9月期	前年同期比増減 (増減率%)
クリーンケアグループ	57,317	54,194	$\Delta 3,123$ ($\Delta 5.4$)
フードグループ	22,970	22,769	$\Delta 200$ ($\Delta 0.9$)
その他	5,111	5,124	+12 (+0.2)
連結合計	85,399	82,088	$\Delta 3,311$ ($\Delta 3.9$)

※前年同期売上高に対して増収となる場合は+、減収となる場合は Δ で表示しています。

連結営業利益(率)の推移

(単位:百万円)



※2013年3月期の業績予想に関しては10月31日に修正しております。

連結営業利益のポイント

2012/9月期の連結営業利益

47億51百万円 前年同期比 +5億12百万円(+12.1%)

主な増減要因

1. 特殊要因を除く売上高の減少に伴う営業利益への影響額 $\Delta 2$ 億円
2. 特殊要因を除く原価率改善に伴う営業利益への影響額 +7億円
3. 経費率に変動はなく営業利益への影響はない —

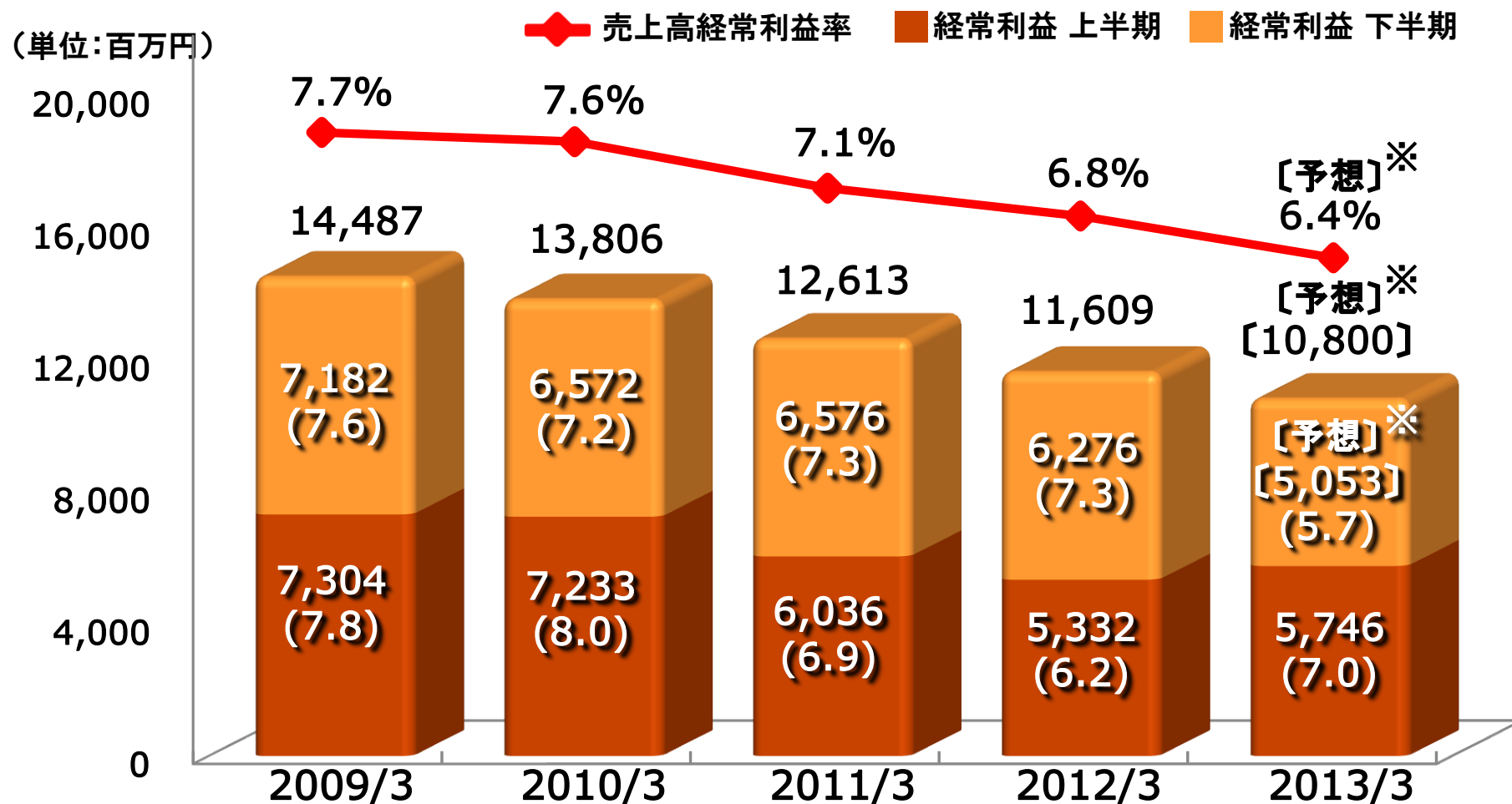
(単位:百万円)

セグメント別 営業利益

	2011/9月期 (営業利益率%)	2012/9月期 (営業利益率%)	前年同期比増減 (増減率%)
クリーンケアグループ	7,019 (12.2)	7,317 (13.5)	+297 (+4.2)
フードグループ	716 (3.1)	478 (2.1)	$\Delta 238$ ($\Delta 33.2$)
その他	172 (3.4)	216 (4.2)	+44 (+25.8)
全社・消去	$\Delta 3,670$ (—)	$\Delta 3,261$ (—)	+409 (—)
連結合計	4,238 (5.0)	4,751 (5.8)	+512 (+12.1)

※前年同期利益に対して増益となる場合は+、減益となる場合は Δ で表示しています。

連結経常利益(率)の推移



※2013年3月期の業績予想に関しては10月31日に修正しております。

連結経常利益のポイント

2012/9月期の連結経常利益

57億46百万円 前年同期比 +4億14百万円(+7.8%)

主な増減要因

1. 営業利益の増加による経常利益への影響額 **+5億円**2. 営業外損益悪化の影響額 **△1億円**

・持分法投資損益 (△1億円)

・金融収支前期比較

(単位:百万円)

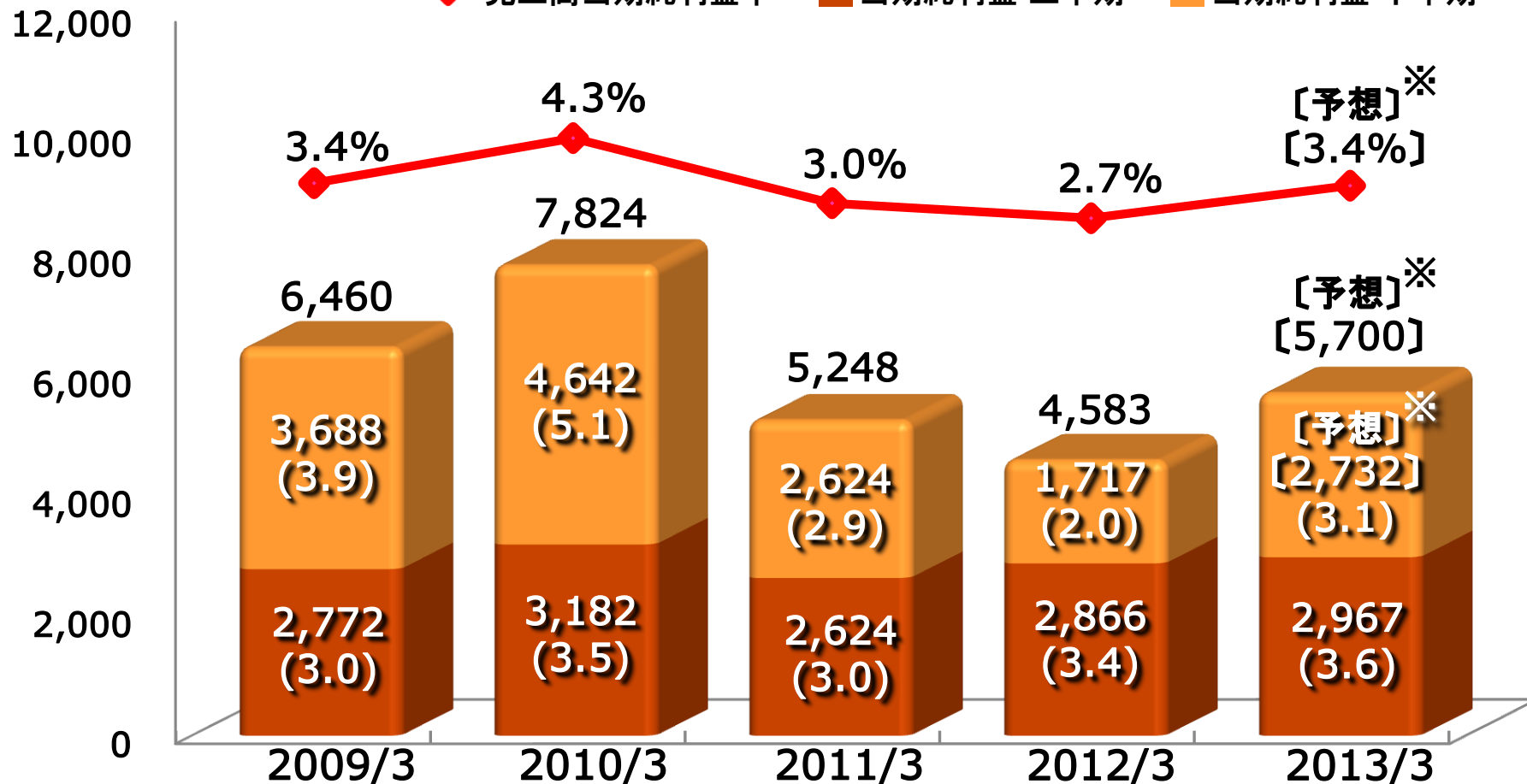
	前期	当期	前年同期比 増減
受取利息 ①	446	470	+24
受取配当金 ②	145	142	△2
支払利息 ③	3	2	△1
金融収支 ①+②-③	587	610	+23

※前年同期利益に対して増益となる場合は+、減益となる場合は△で表示しています。

連結当期(四半期)純利益(率)の推移

(単位:百万円)

◆ 売上高当期純利益率 ■ 当期純利益 上半期 ■ 当期純利益 下半期



※2013年3月期の業績予想に関しては10月31日に修正しております。

連結四半期純利益のポイント

2012/9月期の連結四半期純利益

29億67百万円 前年同期比 +1億 1百万円(+3.5%)

主な増減要因

1. 税引前四半期純利益の増減	+5億円
・経常利益の増減	+4億円
・特別損益の増減	+1億円
➢ 投資有価証券売却及び償還益の増加影響額	(+8億円)
➢ 投資有価証券評価損の増加影響額	(△10億円)
➢ 災害による損失の減少影響額	(+3億円)
2. 税引前四半期純利益の増加に伴う税金費用の増加が四半期純利益に与える影響額	△4億円

※前年同期利益に対して増益となる場合は+、減益となる場合は△で表示しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2012/3月末	2012/9月末	前期末比 増減	主な増減要因
流動資産	59,401	57,100	Δ2,301	「現金及び預金」の増加 +9億円 「有価証券」の減少 Δ41億円 「商品及び製品」の増加 +5億円 「原材料及び貯蔵品」の増加 +5億円
有形・無形固定資産	60,936	62,182	+1,246	リース資産(ダスキン共益)の増加 +15億円
投資その他の資産	76,979	76,811	Δ167	「投資有価証券」の増加 +4億円 「繰延税金資産」の減少 Δ3億円 「差入保証金」の減少 Δ2億円
資産合計	197,316	196,094	Δ1,222	—
流動・固定負債	47,711	46,426	Δ1,285	「買掛金」の増加 +4億円 「賞与引当金」の減少 Δ3億円 「未払金」の減少 Δ11億円 「預り金」の減少 Δ7億円 「退職給付引当金」の増加 +7億円
純資産	149,604	149,667	+62	「利益剰余金」の増加 +4億円 「其他有価証券評価差額金」の減少 Δ4億円
負債純資産合計	197,316	196,094	Δ1,222	—
有利子負債	245	239	Δ6	関係会社の借入金減少

※2012/3月末に対して増加となる場合は＋、減少となる場合はΔで表示しています。

セグメント別 売上高と営業利益

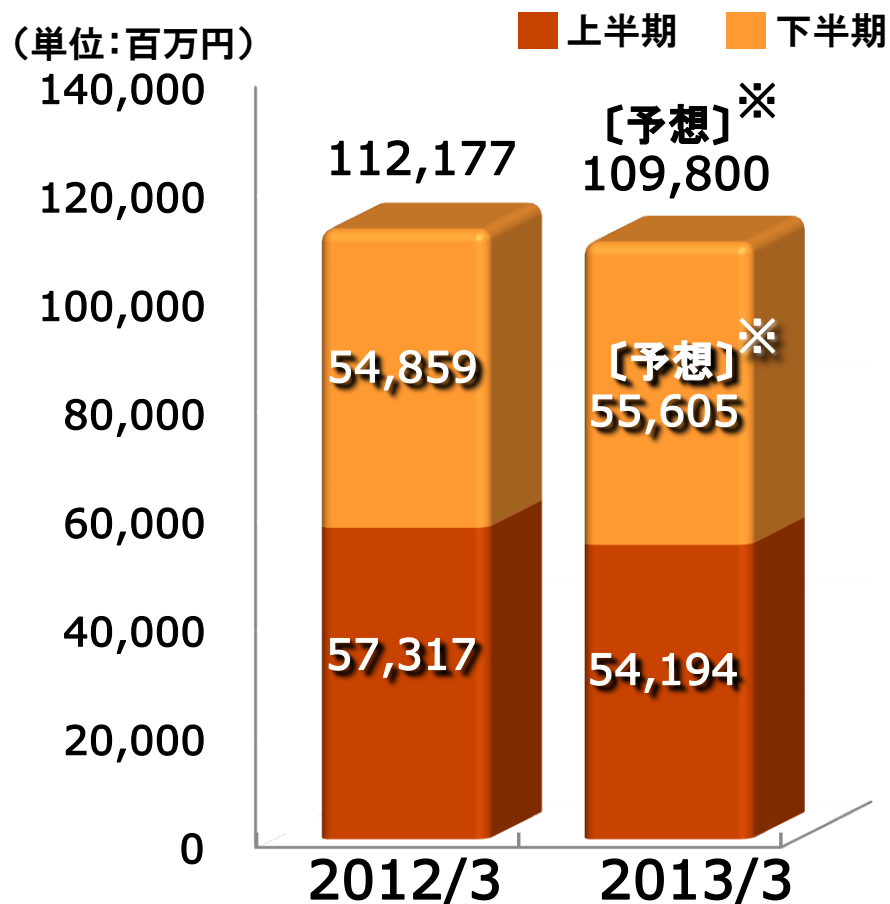
セグメント別

(単位:百万円)

		2012/3月期 営業利益率(%)		2011/9月期 営業利益率(%)		2012/9月期 営業利益率(%)		前年同期比 増減率(%)	
クリーンケア グループ	売上高	112,177	—	57,317	—	54,194	—	Δ3,123	Δ5.4
	営業利益	13,789	12.3	7,019	12.2	7,317	13.5	297	4.2
フード グループ	売上高	48,807	—	22,970	—	22,769	—	Δ200	Δ0.9
	営業利益	2,876	5.9	716	3.1	478	2.1	Δ238	Δ33.2
その他	売上高	10,133	—	5,111	—	5,124	—	12	0.2
	営業利益	375	3.7	172	3.4	216	4.2	44	25.8
全社・消去	営業利益	Δ7,199	—	Δ3,670	—	Δ3,261	—	409	—
連結合計	売上高	171,118	—	85,399	—	82,088	—	Δ3,311	Δ3.9
	営業利益	9,841	5.8	4,238	5.0	4,751	5.8	512	12.1

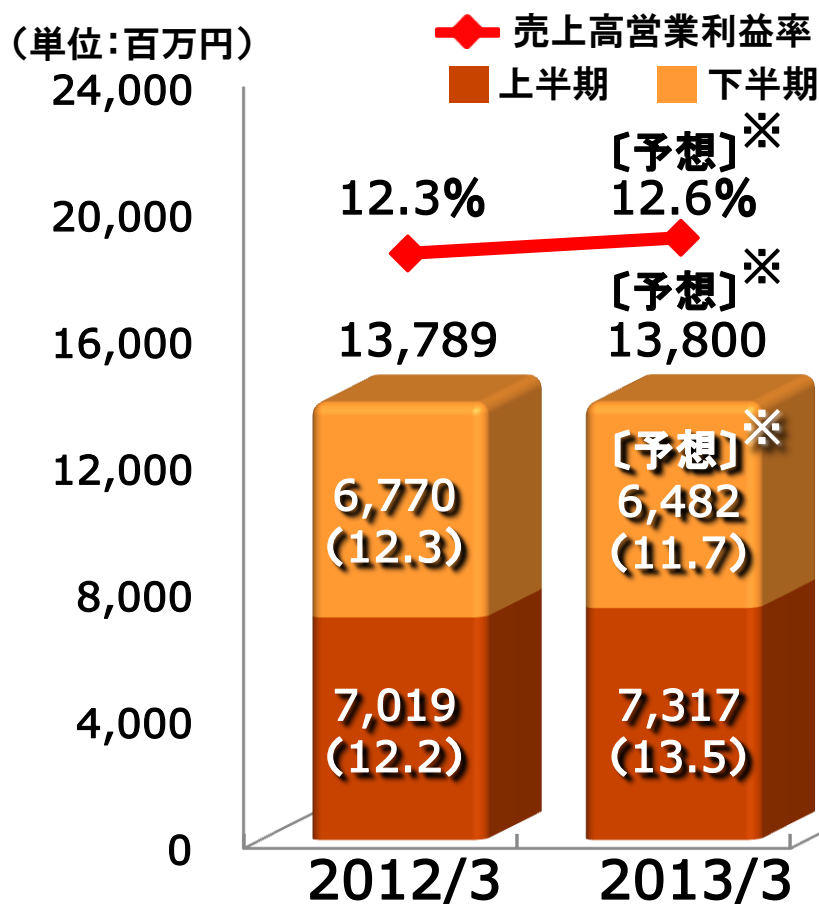
売上高

6カ月(4月～9月、10月～3月)



営業利益

6カ月(4月～9月、10月～3月)



売上高

(単位:百万円)

	前期	当期	増減	率(%)
セグメント売上 ①	57,317	54,194	△3,123	△5.4
サブフランチャイズ契約影響額 ②	△180	△1,880	△1,700	-
加盟店への支店譲渡影響額 ③	-	△131	△131	-
実質比較(①-②-③)	57,497	56,205	△1,292	△2.2

事業所市場

- 事業所市場は相変わらず厳しい環境にあるものの、ハンドソープなどの新商品が順調に推移した“化粧室関連商品”の売上が増加。
- 主力商品であるマット商品は、前年同期と比べ減少はしているものの、減少幅は大きく縮小し日商ベースで(前年同期比較:営業日数1日減)ほぼ前年同期並みまで回復。
 - ・事業所用商品の出荷ベース前年同期比 △3億円(内、マット約△1億円)

家庭市場

- フロアモップ「LaLa」と「ダストクリーナー」のレンタルは順調に推移しているものの、「LaLa」の付属品売上が販売初年度であった前年同期と比べ減少。
また、ハンディタイプモップの落ち込みと合わせ、モップ商品群の売上が減少。
 - ・家庭用商品の出荷ベース前年同期比 △8億円(内、モップ約△5億円)
- 家事代行などの役務提供サービスは、全てのサービスが順調に推移。
- 震災以降、節電意識の高まりを背景に前年同期大幅に伸長したエアコンクリーニングはほぼ前年同期並みに留まる。

営業利益

(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント営業利益	7,019	7,317	+297	+4.2

【前期との比較】

- サブフランチャイズ契約の変更影響除く売上減少に伴う
営業利益への影響額 △2億円

 - ・売上額の減少に伴う売上総利益への影響額 △7億円
 - ・売上額の減少に伴う経費への影響額 +5億円

- サブフランチャイズ契約の変更影響除く原価率の改善に伴う
売上総利益への影響額 +7億円

 - ・「LaLa」投入減少による売上総利益への影響額 +3億円
 - ・ダストクリーナーの収支改善による売上総利益への影響額 +2億円
 - ・その他商品投入額の減少等による売上総利益への影響額 +2億円

- サブフランチャイズ契約の変更影響除く経費率の悪化に伴う
営業利益への影響額 △3億円

 - ・新店舗業務システム費用の増加による営業利益への影響額 △2億円
 - ・減価償却費の増加による営業利益への影響額 △2億円
 - ・人件費の減少による営業利益への影響額 +2億円

※前年同期利益に対して増益となる場合は+、減益となる場合は△で表示しています。

今後の取り組み

➤ 家庭市場

ダストコントロール事業

新おそうじスタイルの更なる普及に向けて

- ・広告媒体(TVCM)の増量
- ・折り込みチラシの増量
- ・ホームショー(デモンストレーション)による販促活動)の継続

役務提供サービス

- ・家事お手伝いサービスの全国拡大

➤ 事業所市場

ダストコントロール事業

- ・積極的な営業活動
- ・今期新発売した化粧室まわりの商品をきっかけとした小商圈活動の推進
- ・「メンテナンス会」の会員登録及び顧客化の更なる推進

役務提供サービス

- ・「ターミニックス安心パック」の提案
- ・サービス責任者の研修制度の見直し

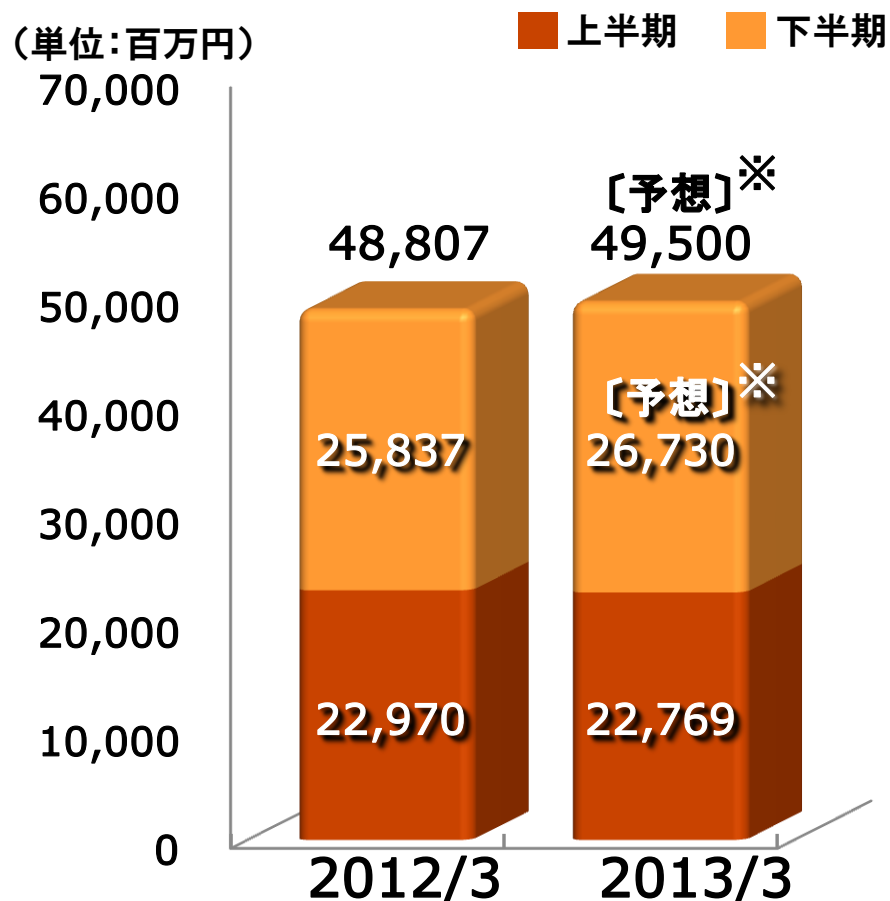
➤ 創業50周年事業（2013年11月に創業50周年を迎えます。）

〔計画案〕

- ・創業50周年謝恩キャンペーンの実施

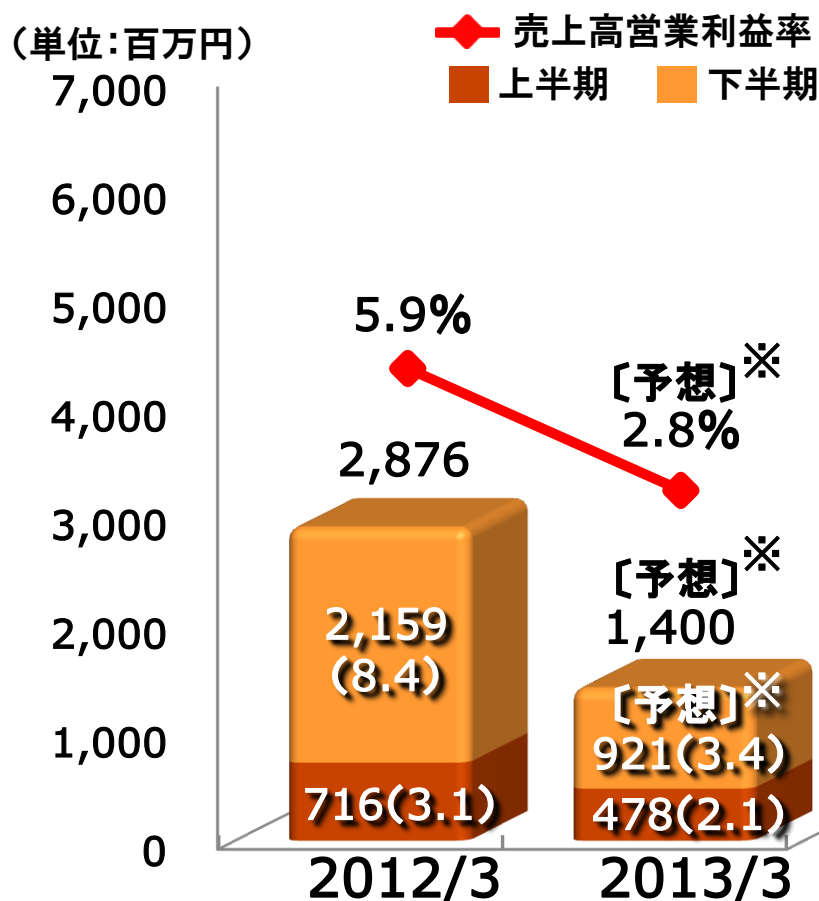
売上高

6カ月(4月～9月、10月～3月)



営業利益

6カ月(4月～9月、10月～3月)



売上高

(単位:百万円)

	前期	当期	増減	率(%)
セグメント売上 ①	22,970	22,769	△200	△0.9
新子会社 蜂屋乳業影響額 ②	—	436	+436	—
②の影響を除く実質比較(①-②)	22,970	22,333	△636	△2.8

第2四半期は増収で

あったものの、第1四半期の落ち込みをカバーできず、累計では約2億円の減収

※7月より連結数値に反映した新子会社蜂屋乳業の売上高約4億円を除くと実質約6億円の減収

■ミスタードーナツ事業の取り組み

定番主力商品「フレンチクルーラー」の素材・製法の見直し等、徹底して“おいしさ”にこだわると共に、季節商品の強化や社会催事に合わせた話題豊かな商品を展開。

プロモーション面においても、日本航空株式会社やユニバーサル・スタジオ・ジャパンとのタイアップ企画、スクラッチカードの復活などの取り組み、さらには9月末より「秋の大感謝祭“定番15品目半額セール”」を実施するものの、前年同期の売上確保までには至らず。

ミスタードーナツ国内既存店お客様売上 前年同期比増減率

前年同期比増減率	第1四半期	第2四半期	上半期
	△9.4%	+0.4%	△4.7%

■ミスタードーナツ国内店舗数(2012年9月末時点)

	ミスタードーナツ店舗			MOSDO	和っ花	合計
	標準店	小商圏店	省スペース店			
前期末	1,353	18	2	2	2	1,377
9月末	1,358	17	3	2	1	1,381
増加数	5	△1	1	0	△1	4

営業利益

(単位:百万円)

	前期	当期	増減	率(%)
セグメント営業利益 ①	716	478	△238	△33.2
新子会社 蜂屋乳業影響額 ②	—	42	+42	—
②の影響を除く実質比較(①-②)	716	435	△281	△39.2

【前期との比較】

新子会社 蜂屋乳業の影響除く

- 売上減少に伴う営業利益への影響額 ±0億円

 - ・売上額の減少に伴う売上総利益への影響額 △2億円
 - ・売上額の減少に伴う経費への影響額 +2億円

- 原価率の改善に伴う売上総利益への影響額 +1億円

- 経费率悪化に伴う営業利益への影響額 △4億円

 - ・ミスタードーナツPOSを含むシステム
関連費用の増加が営業利益に与える影響額 △5億円
 - ・販売促進費用関連 ±0億円
焼きドーナツの販売促進費用が減少
一方緊急売上対策費用(約2億円)が発生
 - ・物流配送費の軽減が営業利益に与える影響額 +1億円

※前年同期利益に対して増益となる場合は+、減益となる場合は△で表示しています。

ミスタードーナツ今後の取り組み

商品面

定番商品のブラッシュアップ

- ・上半期の「フレンチクルーラー」に続いて「イーストドーナツ」のブラッシュアップ

季節催事に合わせたバラエティ展開

- ・ハロウィーンキャンペーン
- ・クリスマスドーナツ

- ・福袋、福箱の販売
年末年始展開



クリスマス限定商品



『PEANUTS』のスヌーピーとのコラボレーション



“イーストドーナツ”一新



販促面

重点訴求商品の設定と、定価販売の促進

創業50周年事業（2013年11月に創業50周年を迎えます。）

〔計画案〕

- ・創業50周年謝恩プロモーションの実施

その他

（単位：百万円）

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント売上	5,111	5,124	+12	+0.2
セグメント営業利益	172	216	+44	+25.8

➤ リース事業の増収によりセグメント売上高は微増

- ・病院施設のマネジメント事業(株式会社ダスキンヘルスケア)
新規契約数は前年同期を上回るものの既存顧客との契約が減額したことにより微減
- ・リース事業(ダスキン共益株式会社)
ミスタードーナツ店舗へのシステム機器入れ替えに伴い増収

➤ 海外事業

- ・ミスタードーナツ韓国の直営店、明洞ショップを閉鎖(2011年8月)したこと等により、減収となる

全社・消去

（単位：百万円）

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント営業利益	△3,670	△3,261	+409	—

- ・全社広告費及び本社経費の削減が営業利益に与える影響額 +7億円
- ・社会保険料率のアップ等が営業利益に与える影響額 △3億円

海外事業

※ 前期より海外事業は「その他」の区分に含めております

➤ 海外事業の国別お客様売上推移

- ・台湾のダストコントロール事業に関して、前期に導入した役務提供サービスとの相乗効果が出始めたことで売上が順調に推移

	国名及び地域 (単位:現地通貨)	2011年 1月~6月	2012年 1月~6月	前年同期 増減
ダストコントロール 事業	台湾 (千台湾元)	276,740	346,508	+69,768 (+25.2%)
	上海 (千人民元)	6,135	6,959	+824 (+13.4%)
	韓国 (千ウォン)	—	20,308	+20,308 (—)
ミスタードーナツ 事業	台湾 (千台湾元)	392,459	347,017	△45,442 (△11.6%)
	上海 (千人民元)	11,109	16,261	+5,152 (+46.4%)
	韓国 (千ウォン)	12,417,753	11,142,352	△1,275,401 (△10.3%)

※台湾は国として記載しています。

➤ ミスタードーナツ海外(台湾・上海・韓国)店舗の推移

	前期6月末 店舗数	当期6月末 店舗数	増加数
台湾・上海・韓国 合計	140店	142店	+2店

海外事業今後の取り組み

➤ ダストコントロール事業

- ・既存国での拠点数拡大
- ・店頭デモンストレーションによる家庭用顧客数拡大
- ・役務提供サービスの拡大



➤ ミスタードーナツ事業

- ・未展開国への進出(東南アジア、オセアニア等)
- ・低投資店舗(キッチンレス、小型店舗)での出店拡大
- ・現地の嗜好に合った商品開発と販売促進



公表予想との比較 及び 通期業績予想

連 結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計予想	85,000	4,200	5,300	2,700
実績	82,088	4,751	5,746	2,967
乖離額(率%)	Δ2,911(Δ3.4)	551(13.1)	446(8.4)	267(9.9)

売上高

・クリーンケアグループ:ダストコントロール事業の事業所市場の売上はほぼ計画通りであったのに対し、家庭市場及びドリンクサービス事業の売上が計画を下回る

・フードグループ:前期が不振で、前々期並みの売上確保を計画したミスタードーナツが依然として低調に推移し、計画を大きく下回る

営業利益

・売上げ下振れに伴う売上総利益の減少があるものの、特にクリーンケアグループの販売促進費等の未使用を主因として営業利益が計画を上回る

経常利益

・営業利益の上振れに対し、持分法投資損益の下振れ等の発生

連結 (10/31修正)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012/3月期実績	171,118	9,841	11,609	4,583
2013/3月期予想(5/15公表分)	175,000	9,200	11,200	6,200
2013/3月期予想(10/31修正分)	170,000	9,000	10,800	5,700
修正額	△5,000	△200	△400	△500
前年同期比増減額	△1,118	△841	△809	1,116
前年同期比増減率(%)	△0.7	△8.6	△7.0	24.4

個別 (10/31修正)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012/3月期実績	150,019	6,928	10,313	4,428
2013/3月期予想(5/15公表分)	151,000	6,700	9,400	5,300
2013/3月期予想(10/31修正分)	147,000	6,000	8,800	5,000
修正額	△4,000	△700	△600	△300
前年同期比増減額	△3,019	△928	△1,513	571
前年同期比増減率(%)	△2.0	△13.4	△14.7	12.9

セグメント別売上高・営業利益予想 (10/31修正)

(単位:百万円)

		2012/3月期 営業利益率		2013/3月期 5/15公表分 営業利益率		2013/3月期 10/31修正分 営業利益率		前期比 増減額 増減率	
クリーンケア グループ	売上高	112,177	—	110,500	—	109,800	—	Δ2,377	Δ2.1%
	営業利益	13,789	12.3%	13,400	12.1%	13,800	12.6%	10	0.1% (0.3)
フード グループ	売上高	48,807	—	53,500	—	49,500	—	692	1.4%
	営業利益	2,876	5.9%	2,600	4.9%	1,400	2.8%	Δ1,476	Δ51.3% (Δ3.1)
その他	売上高	10,133	—	11,000	—	10,700	—	566	5.6%
	営業利益	375	3.7%	400	3.6%	400	3.7%	24	6.7% (0.0)
全社・消去	営業利益	Δ7,199	—	Δ7,200	—	Δ6,600	—	599	—
連結合計	売上高	171,118	—	175,000	—	170,000	—	Δ1,118	Δ0.7%
	営業利益	9,841	5.8%	9,200	5.3%	9,000	5.3%	Δ841	Δ8.6% (Δ0.5)

配当について

2013年3月期 配当について

- 2012年3月期の期末配当につきましては、従来からの当社の配当政策に従い、2011年3月期と同様の1株につき40円を実施しております。
- 2013年3月期に関しましては、株主の皆様への利益還元機会の充実を図るため、中間配当の実施を予定しており、配当額の年間合計は1株につき同額の40円を予定しております。

1株当たり配当金(円)	2011/3月期実績	2012/3月期実績	2013/3月期予定
第2四半期末	—	—	20
期末	40	40	20
合 計	40	40	40
配当総額(百万円)	2,612	2,571	2,571
連結配当性向(%)	50.4	56.3	45.1

※ 連結配当性向は1株当たりで計算しております。

ご参考

個別業績

(単位:百万円)

	2011/ 9月期	2012/ 9月期	前年同期比増減		(ご参考) 2012/3月期
			額	率(%)	
売上高	74,259	70,841	△3,417	△4.6	150,019
営業利益	2,753	3,095	342	12.4	6,928
売上高営業利益率(%)	(3.7)	(4.4)	(0.7)	—	(4.6)
経常利益	5,058	5,009	△49	△1.0	10,313
売上高経常利益率(%)	(6.8)	(7.1)	(0.3)	—	(6.9)
当期(四半期)純利益	3,143	2,839	△304	△9.7	4,428
売上高当期純利益率(%)	(4.2)	(4.0)	(△0.2)	—	(3.0)

セグメント別の事業概要

2012年3月期連結

売上高1,711億円、営業利益98億円

クリーンケアグループ

売上高 1,121億円

営業利益 137億円

※売上は、①加盟店へのレンタル・商品売上、資器材・薬剤売上等/②ロイヤルティ(ダストコントロール事業に関してはロイヤルティなし)/③直営店売上

ホームサービス

ダストコントロール事業

モップ、マット等のダストコントロール商品をはじめ、レンジフードフィルターや浄水器、空気清浄機、化粧室まわり商品等、暮らしやビジネス環境を快適にする商品群を提供

ケアサービス(役務提供サービス)

ハウスクリーニング、家事代行サービス、害虫獣駆除サービス、庭木のお手入れサービスを提供

ヘルス&ビューティ、他

化粧品や健康食品の販売

ホームインステッド

高齢者の生活支援サービス

レントオール

日用品・介護用品のレンタル

ユニフォームサービス

レンタル及びクリーニング

ドリンクサービス

飲料水、コーヒーの販売

フードグループ

売上高 488億円

営業利益 28億円

※売上は、①加盟店への原材料売上/②ロイヤルティ/③直営店売上

ミスタードーナツ

手作りのフレッシュなドーナツを提供するドーナツ専門店を展開

フードチェーン

かつ専門店「かつアンドかつ」、カフェ「カフェデュモンド」、スティック型ケーキの販売「スティック・スイーツ・ファクトリー」「MOSDO」「和っ花」

(株)どん

海鮮丼を中心に新鮮な海の幸や旬の素材を使った丼等を提供

その他事業

売上高 101億円

営業利益 3億円

※売上は、①直営店売上/②ロイヤルティ/③原材料売上

(株)ダスキンヘルスケア

病院施設の衛生マネジメントサービス等

ダスキン共益(株)

リース事業

ダスキン保険サービス株式会社

海外事業・その他

ダストコントロール事業及びミスタードーナツの海外展開

ダスキン香港

※概要図は2012年4月1日時点イメージしています。「MOSDO」、「和っ花」はフードチェーンに編入しています。

フランチャイズ展開

クリーンケアグループ

ホームサービス

・モップ、マット等の定期訪問レンタル

ダストコントロール 家庭用 モップ、マット等
エアークリーン 家庭用 空気清浄機
ウォータークリーン 家庭用 浄水器

・ケアサービス(役務提供サービス)

サービスマスター ハウスクリーニング
メリーメイド 家事代行
ターミニックス 家庭用 害虫獣駆除・予防
トウルグリーン 庭木の手入れ

・ヘルス&ビューティ、他 自然派化粧品、健康食品
・ホームインस्टedd 高齢者生活支援サービス
・レントオール イベント用品等のレンタルや介護用品のレンタル及び販売

ビジネスサービス

・モップ、マット等の定期訪問レンタル

ダストコントロール 事業所用 モップ、マット等
クリーンサービス 事業所用 トイレ・洗面所関連商品
エアークリーン 事業所用 空気清浄機
ウォータークリーン 事業所用 浄水器
ワイプフルサービス レンタルウエス

・ケアサービス(役務提供サービス)

サービスマスター プロの清掃サービス
ターミニックス 事業所用 害虫獣駆除・予防

・ユニフォームサービス ユニフォームのレンタル及びクリーニング

・ドリンクサービス オフィスコヒー、ポトルドウォーター等の販売

フードグループ

・ミスタードーナツ ミスタードーナツ

・フードチェーン

カフェデュモンド カフェオレとベニエ
かつアンドかつ とんかつレストラン
スティック・スイーツ・ファクトリー
..... スティック型ケーキのショップ

MOSDO、和っ花

・ザ・どん 海鮮どんぶり

その他事業

・主としてFC加盟店へのサービス(販売)

ダスキン共益 リース事業
ダスキン保険サービス ... 保険代理事業

・ダスキンヘルスケア 病院のマネジメントサービス等

・海外事業 ダストコントロール事業、ミスタードーナツの海外展開及びダスキン香港

※概要図は2012年4月1日時点イメージしています。「MOSDO」、「和っ花」はフードチェーンに編入しています。

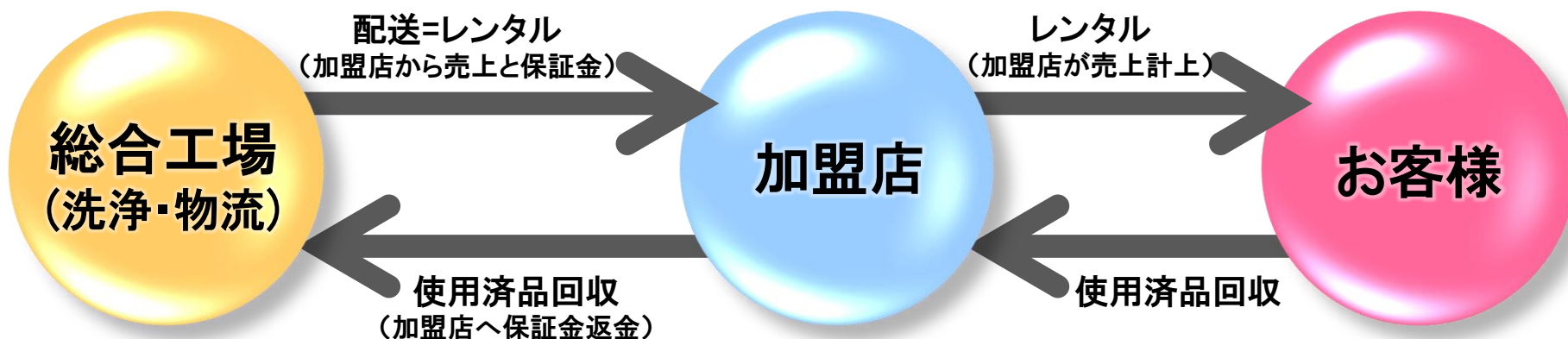
前年同期对比

前年同期対比	2011/9月期	2012/9月期	前年同期比	率(%)	2012/3月期
クリーンケアグループ	137,568	136,868	△699	△0.5	275,830
ダストコントロール(国内) ホームサービス	52,238	51,032	△1,206	△2.3	104,988
ビジネスサービス	50,053	49,419	△633	△1.3	99,860
ケアサービス	21,634	21,943	+309	+1.4	43,255
(サービスマスター)	(12,763)	(12,664)	(△98)	(△0.8)	(25,512)
(メリーメイド)	(4,055)	(4,275)	(+219)	(+5.4)	(8,734)
(ターミニックス)	(3,844)	(3,955)	(+110)	(+2.9)	(7,102)
(トウルグリーン)	(970)	(1,048)	(+77)	(+8.0)	(1,904)
ヘルス&ビューティ	1,437	1,545	+108	+7.5	2,897
アザレプロダクツ	2,270	2,281	+10	+0.5	4,529
ホームインステッド	1,113	1,084	△29	△2.6	2,221
レントオール	6,765	7,524	+759	+11.2	14,042
ユニフォームサービス	1,331	1,293	△37	△2.8	2,616
ドリンクサービス	724	743	+19	+2.6	1,418
フードグループ	56,396	53,407	△2,989	△5.3	119,479
ミスタードーナツ	53,801	51,122	△2,678	△5.0	114,723
フードチェーン	1,546	1,273	△272	△17.6	2,674
どん	1,049	1,011	△37	△3.6	2,081
その他	9,848	9,811	△37	△0.4	20,171
ダストコントロール海外(2012年1月～6月)	853	1,007	+153	+18.0	1,914
ミスタードーナツ海外(2012年1月～6月)	5,581	5,387	△193	△3.5	11,388
ダスキンヘルスケア	3,413	3,416	+2	+0.1	6,867
合 計	203,814	200,087	△3,726	△1.8	415,481

※商品出荷ベース等から推測したもので、あくまで参考数値です。集計方法等により過去数値も含め変更となる場合があります。

モップ・マット等のレンタル

商品を繰り返し使い、寿命が尽きるまで使い切る…という発想が根幹



直営及び子会社	13工場
協力会社	32工場
合計	45工場

直営・子会社支店	71拠点
FC拠点	約2,100拠点
営業拠点	約2,200拠点

訪問販売員
約75,000人

家庭市場の
お客様
約550万軒

事業所市場の
お客様
約130万軒

2012年4月1日時点

①全国を網羅する充実した生産・販売体制

この資源循環型ビジネスモデルを全国規模で確立するには、工場体制の整備、レンタル用商品の資材購入に多額の投資が必要であり、加えて全国的な訪問販売員の組織構築に時間と費用を要するため、競争は少ない。

②強固な顧客基盤

対面販売できる広範な顧客基盤を有している点が強み。特に家庭市場における顧客基盤が強固である。